

研究課題 (テーマ)	助産師と保健師が見出す「気になる妊婦」のアセスメント指標の開発 ～早期スクリーニングのためのアセスメント指標実用化に向けて～		
研究者	所属学科等	職	氏名
代表者	看護学部	講師	西村 香織
研究結果の概要			
<p>日本で妊婦支援の中心を担う医療機関と地域の看護職が支援が必要だと感じる気になる妊婦を確実に把握し、支援につなげることを目指し「看護職が妊娠早期に活用する気になる妊婦のアセスメント指標を開発すること」を目的に研究に取り組んだ。まず、先行研究である質的記述的研究からアセスメント指標原案を作成し、臨床経験 10 年以上の看護職により内容妥当性を検証した。表面妥当性の検討は、68 名を対象に無記名自記式質問紙調査を実施し、この結果をもとに 39 項目を選定した。</p> <p>本調査は全国の分娩取扱施設 2,111 施設から無作為に抽出した 1,000 施設、母子健康手帳交付窓口 1496 施設から無作為に抽出した 1,000 施設の計 2000 施設から各 1 名ずつの 2,000 名を対象に無記名自記式質問紙調査を実施した。回収率は 559 部 (27.9) %、有効回答率は 539 部 (27.0) %であった。因子分析の結果、4 因子 19 項目から構成される指標が開発された。指標全体のクロンバックの α 信頼性係数は 0.948 であった。気になる妊婦のアセスメント指標は信頼性・妥当性を確保しており、看護職が気になる妊婦をスクリーニングするためのツールとして活用可能であると考えられる。この結果を英語論文として投稿中である。また、学会発表の演題として採択されている。</p>			
今後の展開			
<p>今後は、臨床および地域の看護職にアセスメント指標を使用してもらい、妥当性の検証と実用化を目指す。</p>			